

平成二十五年入学試験問題 国語

受験番号	
氏名	

- 一 次の①～⑦の傍線部の漢字の読みをひらがなで書き、⑧～⑮の傍線部のカタカナの部分に漢字に直しなさい。
- ① 子どもの自立を妨げてはいけない。
  - ② 祖父の代からこの商売に携わっている。
  - ③ 周囲の人に促されて席を立った。
  - ④ 交通違反は容赦なく取り締まるべきだ。
  - ⑤ 抑揚をつけて詩を朗読する。
  - ⑥ 彼は将来を囑望された作曲家だ。
  - ⑦ 彼女の意見は既成の考えを打ち破るものだ。
  - ⑧ 担当者から経過の説明を聞いてナットクした。
  - ⑨ 雨で体育祭がジュンエンとなった。
  - ⑩ 家族全員で祖母のリンジュウに立会った。
  - ⑪ 患者さんも病がケイカイして表情が明るくなった。
  - ⑫ 煙草が健康によくないのはシュウチの事実だ。
  - ⑬ 高齢者は室内でコロンで骨折することがある。
  - ⑭ 人前でのひそひそ話はツツシむべきだ。
  - ⑮ 冬が間近だとは思えない小春ビヨリが続いている。

二 次の①～⑤は対義語の組合せである。それぞれの空欄に漢字一字を入れて完成させなさい。

- ① 権利Ⅱ□務      ② 抽象Ⅱ□体      ③ 複雑Ⅱ単□      ④ 勝利Ⅱ□北      ⑤ 正常Ⅱ□常

三 次の①～⑤のそれぞれには一つだけ他と異なるものがある。それを選び、記号で答えなさい。

- ① ア 竹取物語      イ 伊勢物語      ウ 源氏物語      エ 平家物語
- ② ア 松尾芭蕉      イ 上田秋成      ウ 小林一茶      エ 与謝蕪村
- ③ ア 石川啄木      イ 若山牧水      ウ 宮沢賢治      エ 斎藤茂吉
- ④ ア 坊ちゃん      イ 山椒魚      ウ こころ      エ 吾輩は猫である
- ⑤ ア たけくらべ      イ 人間失格      ウ 金閣寺      エ 太陽の季節

四 次の①～⑤について最もふさわしい言い方を後のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ① 知人を家に招いて食事を出した時の言い方としてふさわしいのはどれか。
  - ア 冷めないうちに、ご遠慮なく食べてください。
  - イ 冷めないうちに、ご遠慮なくあがってください。
  - ウ 冷めないうちに、ご遠慮なく召し上がってください。
  - エ 冷めないうちに、ご遠慮なく召し上がってください。
- ② 中学生が講演のために来校した外部の講師と話す言い方としてふさわしいのはどれか。
  - ア いつもテレビで見ている先生に会えて、とてもうれしです。
  - イ いつもテレビで拝見している先生にお目にかかれて、とてもうれしです。
  - ウ いつもテレビで拝見している先生にご覧になって、とてもうれしです。
  - エ いつもテレビでご覧になっている先生にお会いできて、とてもうれしです。
- ③ 上司から取引先の営業部長を知っているかどうか尋ねられた。応答としてふさわしいのはどれか。
  - ア はい、知っています。
  - イ はい、存じております。
  - ウ はい、存じ上げております。
  - エ はい、お知りしております。
- ④ 中学校の入学式で手伝いをしている生徒の保護者に対する言い方としてふさわしいのはどれか。
  - ア ここでちよつと待っていてください。
  - イ ここでちよつとお待ちしてください。
  - ウ こちらで少しお待ちください。
  - エ こちらで少しお待ちにならってください。
- ⑤ 高校の文化祭で見学者が「このパンフレット、もらってもいいですか」と言った。応答としてふさわしいのはどれか。
  - ア どうぞ、もらってください。
  - イ どうぞ、お持ちください。
  - ウ どうぞ、お持ちしてください。
  - エ どうぞ、持たれてください。

五 次に示すのは三浦哲郎の小説『ねぶくろ』の一節です。これを読んで後の問に答えなさい。

毎年、①師走も半ばを過ぎたころから、おむら婆さんは、何かにつけて嫁の顔をうかがわないうではいられなくなる。今年もまた、いつもの年の暮と同様、だしぬけに（ A ）あのことをいい出すつもりではないのかしらんと、気が気ではないからだ。あのこと、とは、a 体よくいえば一種の里帰りの勧めである。

「おかあさん、今度の年末年始はどうなさる？ やつぱり村の御実家へ帰られて何泊かしてきなすつたら？ うちなんか、子供たちがますます当世風になって正月情緒も年々薄れる一方ですけど、あちらは相変わらずお身内が大勢集まって賑やかなんでしょ？ うちで味気ない思いをなさるよりは、みなさんとのんびりお正月気分を味わっていらっしやいませな、おかあさん……。」嫁がそんなことをいい出すときには、いつだって、とつくに婆さんのよそゆきの支度は勿論、実家へ持参する②手土産のたぐいまで、用意がすっかり整っている。婆さんは否も応もない。

もともと③仮病まで使って嫁に抗うほどのへそ曲がりではないつもりだし、b 正月ぐらいは親子水入らずでという嫁の気持ちもわからぬではないから、このような勧めも年寄りへの思いやりと言うものだろうと考えることにして、④大晦日の朝、休暇に入って体を持て余している大学生の孫の車におとなしく乗り込み、市から凍てついた道を小一時間ばかり揺られて村の実家へ運ばれるのが年中行事の一つになっているのだが、c こんな傍目には羨まれるような里帰りも、近頃、当人にとってはなかなか楽なものではなくなっている。

実家は、昔は村の※肝煎をしたこともある旧家で、いまでも指折りの裕福な農家だが、父親を継いだ長兄はすでに他界して、いまはおむら婆さんには「X」にあたる長兄のせがれの代になっている。婆さんは五人きょうだいの末娘だったが、上の四人が年齢の順に亡くなって、気がつくまで婆さん一人きりになっていた。だから、たまになにかの用事で実家に帰ることがあっても、昔話の相手も見当たらず迎えが来るまでぼつんとひとり、念仏を唱えるともなく仏壇の前にはばらく坐り込んでくるだけである。家のなかひっそり閑としている普段でもそうなのだから、うっかり盆や正月に帰ったりすると、自分の居場所をさえ見つけかねることになる。遠くの都会や他県の町へ働きに出ている幾人もの「X」や⑤姪たちが家族連れでぞろぞろ帰ってきて、さしもの広い家も客を欲張りすぎた民宿のような観を呈するからである。

正月には、いったい何家族が集まるのだろう。「X」や姪の子供たちのうちには、すでに結婚しているのもいて、毎年どこかの家族に新しい子供が増えている。赤児の泣き声と子供の駄々をこねる声を主にした喧嘩が年毎に募るばかりである。

そんな実家の有様を、嫁も薄々は知ってはいるのだろうが、それでも毎年、暮近くなると（ B ）、「あちらでみなさんとのんびりお正月気分を味わっていらっしやいませな、おかあさん。」とくる。いくら嫁の行為だと思いつても、このときばかりは小憎らしくなるが、おむら婆さんには、いっこうに抗う気持が起こらない。

もはや望みは自分の年齢だけで、何年か前の誕生日に、ささやかながら⑥古稀の祝いをしてもらったときは、これでこの年末からはd 気鬱な里帰りなどしなくても済むだろうと思つたものだったが、e あつさり当てが外れてしまった。年の暮近くなると、嫁の顔をうかがいながらびくびくするようになったのは、それからである。嫁は、（ C ）、「自分がいくつになっても正月には村の実家へ追ひ払うつもりでいるらしい。」

※肝煎(きもいり)＝名主・庄屋の異称。

問一 二重傍線部①～⑤の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問二 二重傍線部⑥の「古稀の祝い」とは何歳の祝いのことか。次から選び、記号で答えなさい。

ア 六十歳      イ 七十歳      ウ 七十七歳      エ 八十歳      オ 八十八歳

問三 本文中の空欄（ A ）（ B ）（ C ）のそれぞれに入るべきことばを次から選び、記号で答えなさい。

ア 何食わぬ顔で      イ 猫撫で声で      ウ 虫も殺さぬような顔をしていて

問四 本文中の三カ所の空欄「X」には同じことばが入る。入るべきことばを書きなさい。（ひらがなでもよい）

問五 傍線部aの「体よくいえば」の「体」と似た用法の「体」を含むことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 体格      イ 体裁      ウ 体験      エ 液体      オ 身体

問六 傍線部bの「正月ぐらいは親子水入らずで」の後に省略されたことばとして最も適當なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 過ごしたい      イ 楽しんできてください      ウ 暮らしましょう      エ のんびりと過ごしてほしい

問七 傍線部cの、おむら婆さんの里帰りが傍目に羨まれる理由として、適當でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 親類が大勢集まって賑やかに正月気分を味わえるから。      イ よそゆきの支度や手土産まで用意ができているから。  
ウ 大学生の孫が車で送り迎えしてくれるから。      エ おむら婆さんには嫁に抗う気持がないから。

問八 傍線部dの、おむら婆さんにとって里帰りが気鬱な理由として、適當でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 年の暮に嫁の顔をうかがってびくびくするから。      イ 実家も他界した長兄のせがれの代になっているから。  
ウ 実家に帰っても昔話の相手も見当らないから。      エ 大勢が集まり自分の居場所さえ見つけかねるから。

問九 傍線部eの、当てが外れたことについて、おむら婆さんはどのような嫁のことばを期待していたと考えられるか。解答欄に適當なことばを補って、嫁のことばを完成させなさい。

六 次に示すのは聖路加国際病院理事長の日野原重明の『続 生き方上手』の一節です。これを読んで後の問に答えなさい。

「プロ根性、プロ意識をもて」と上司が部下を激励するときのプロも、子どもたちが憧れるプロスポーツ選手のプロも、それぞれ「プロフェッションナリズム」と「プロフェッショナル」を縮めたことばです。この「プロ」とは、いったい何でしょうか。プロフェッションを辞書で引くと、筆頭に「職業」とあります。職業については、明治の文豪・夏目漱石が「道楽と職業」と題した兵庫県明石での講演でこんなことを語っています。

「どんな職業であれ、ただ好きだからやるというのではだめだ。人のためにするという公益性をもつべきものが、職業である」と。好きでやっているあいだはただの道楽だけれども、そこにへ 1 へ という価値を見出した瞬間、道楽は職業に変わるといいうのです。さらに続けて漱石は、へ 2 へ がとりもなおさずへ 3 へ になる、と言っています。これこそが職業意識、プロ意識というものでしょう。

若い人たちは将来の職業を何をもって選択しているでしょうか。①「好きだ」というのならまだしも、近ごろでは「地位が安定しているから」とか「収入がいいから」が上位の理由にあげられています。

日本のエリートたちが集うある大学医学部の教授が、「②ここに入ってくる学生の9割は医師に向かない」とA嘆息まじりに私に語ったことばが、いつも思い出されます。

ひるがえって、子どもたちや若い人たちに、「これがプロだ」という見本をおとなは示せているでしょうか。子どもたちが憧れ、めざしたくなるような姿をおとなが示せないかぎり、この大学教授のため息はおさまることがないように思うのです。

ところで、プロフェッションは本来、強い使命感に支えられたものでした。プロフェッションの語は十三世紀に「入信の誓い」という意味で登場し、中世の時代には「神学、法学、医学にかかわる職業」をも指す語となり、さらに「公言」「宣言」「告白」の意味をもつにいたったことばです。

公のためにB貢献することを神から求められた者たちがプロなのであり、その使命を果たすために長期にわたって修養し、専門技術を身につけ、生涯をその使命遂行に捧げる人たちがプロでした。

中世の時代にプロと目されたへ a へ、へ b へ、へ c へ たちには、自分は神から公のために尽くすことを託されているのだという使命感がありました。この3つの職に身をおく者には、ごまかしや裏切りや、自分の儲けだけを考えることなど決してあってはならない、あろうはずがないということ、彼らは衆目からひと目でそれとわかるように、それぞれのユニホームに身を包んでいました。プロであることをつねに問われていたわけです。

はたして、いまだれくらいの人たちがユニホームを③襟を正す思いで身につけているでしょうか。公人にかぎらず、私たちは自らのプロ意識を問う必要がありそうです。

問一 本文中の空欄へ 1 へ 2 へ 3 へ のそれぞれに入るべきことばを次から選び、記号で答えなさい。

ア 他人のため イ 自分のため

問二 本文中の空欄へ a へ b へ c へ のそれぞれに入るべきことばを次から選び、記号で答えなさい。

ア 聖職者 イ 法学者 ウ 医師 エ 裁判官 オ 神学生  
カ 弁護士 キ 看護師

問三 二重傍線部A「嘆息」、同B「貢献する」と同じ意味のことばを、本文中からそれぞれ五字以内で抜き出しなさい。

問四 傍線部①では、なぜ「まだしも」なのか。次の説明文の空欄へ x へ y へ z へ に入るべきことばをそれぞれ本文中から抜き出しなさい。

職業選択の理由として、「好きだ」というのは、( x ) が欠けているので不十分であるが、( y ) や ( z ) というのよりはいいと言えるから。

問五 傍線部②の教授のことばにおける、9割の学生に欠けているのは何だと考えられるか。次の中から適当でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 職業意識 イ プロ意識 ウ 使命感 エ 選択理由

問六 傍線部③の「襟を正す思い」の「襟を正す」とはどういう意味か。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 常に服装の乱れを気にかけること イ 心を引き締めまじめな態度になること  
ウ ユニホームの襟をきちんと整えること エ 胸中の思いを隠さずすっきり打ち明けること

問七 この文章に題名を付けるとしたら何が適当か。次から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 道楽と職業 イ プロの使命感 ウ 若者の就業意識 エ プロフェッションの歴史

問八 現代でもユニホームを着て仕事をする職業はいろいろありますが、筆者によればユニホームを着用することにはどんな意味があるのですか。簡単に説明しなさい。

受験番号
氏名

④	③	②	①
	⑦	⑥	⑤
⑪	⑩	⑨	⑧
⑮	⑭	⑬	⑫

①×15

得点
/ 80

二

①	
②	
③	
④	
⑤	

①×5

三

①	
②	
③	
④	
⑤	

①×5

四

①	
②	
③	
④	
⑤	

①×5

/ 15
------

五

問一	①	
②	②	
③	③	
④	④	
⑤	⑤	

①×5

問二

②	
---	--

②

問三

A	
B	
C	

②×3

/ 25
------

問九

「おかあさん、今度のお正月は、」

「

」

②

六

問一

1	
2	
3	

①×3

問二

a	
b	
c	

①×3

問三

A	
B	

②×2

問四

z	x	
y		

②×3

/ 25
------

問五

②	
---	--

②

問六

②	
---	--

②

問七

②	
---	--

②

問八

③	
---	--

③



受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

1 次の計算をせよ。

(1)  $6 \times \{3 - (-4)\}$

(2)  $(-3)^2 + 18 \div (-2)$

(3)  $(-\frac{3}{4}) \div \frac{9}{16} \times \frac{27}{8}$

(4)  $3\sqrt{3} - \sqrt{12} + 2\sqrt{27}$

(5)  $\frac{3a+b}{4} - \frac{2a-3b}{6}$

(6)  $\frac{1}{4}x^3y^2 \div (-\frac{1}{8}xy)$

2 次の問いに答えよ。

(1)  $x = -3, y = 2$  のとき、 $-3y(2x+y)$  の値を求めよ。

(2) 連立方程式  $\begin{cases} x - 2y = 10 \\ 2x + 5y = -7 \end{cases}$  を解け。

(3)  $(x-3)^2 - 16$  を因数分解せよ。

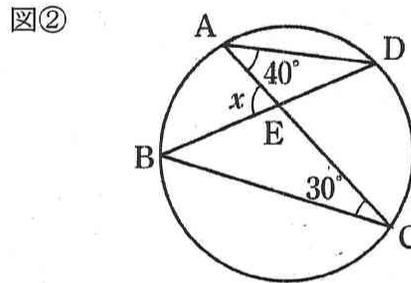
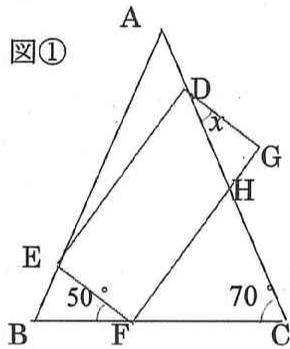
(4) 八角形について、その内角の和を求めよ。

(5) 1辺が 4 cm の立方体と 1辺が 10 cm の立方体がある。この2つの立方体の体積の比を求めよ。

(6) 2人がじゃんけんを1回するとき、あいこになる確率を求めよ。

(7) 下の図①における△ABCは∠ACB = 70°で、四角形DEFGは長方形である。∠EFB = 50°であるとき、∠GDCの大きさを求めよ。

(8) 下の図②の円において、∠AEBの大きさを求めよ。



3 A君、B君の比が3:4、B君、C君の比が8:9の割合で出資して、ある事業を行っている。今年の利益の総額が920万円であった。事業の利益を、出資金の割合で配分することにしたとき、今年のB君の受け取る金額はいくらか。

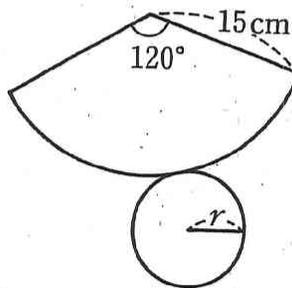
4 A、Bの2人がじゃんけんをして、勝ったとき10点、負けたとき5点とするゲームを20回行った。その結果、Aはn回勝った。このときのAの得点は何点となるか。ただし、じゃんけんで引き分けになることはないものとする。

5 周囲の長さが24mで、面積が35m<sup>2</sup>の長方形がある。長方形の縦の長さは何mか。ただし、縦の長さより横の長さの方が大きいものとする。

6 ある円すいを展開したら、下の図のようになった。次の問いに答えよ。(円周率はπとする)

(1) 底面の半径rを求めよ。

(2) この円すいの高さhを求めよ。



解 答

1	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
2	(1)	(2) $x =$	$y =$	(3)	(4)	
	(5)	:	(6)	(7) ∠GDC =	(8) ∠AEB =	
3	B君	円	4	点		
5	縦の長さ	m	6	(1)	cm	(2) cm